

石川県内における水のマツリ～古墳時代を中心に～

新美 祥人夢

はじめに

古墳時代にみられる祭祀遺跡は①自然物を対象とするもの②住居跡付属地③古墳付属地などがある。中でも①に該当する水の祭祀は、畿内周辺を中心として多くの検出例がある。これは古墳時代前期から古墳時代中期にかけての時期に集中し、①湧水源地を加工したもの（湧水点祭祀）②流水を対象としたもの（流水祭祀）に大別される。前者に該当する遺跡は三重県城之越遺跡、同県六大A遺跡などがあり、後者には奈良県南郷大東遺跡、京都府小樋尻遺跡などが挙げられる。また、水のマツリの埴輪表現は古墳時代中期以降に大阪府狼塚古墳、三重県宝塚1号墳において確認できる。

1. 石川県内における水辺の祭祀

石川県内では、上記のような水のマツリを執り行ったとする遺跡の発見例はまだ多いとはいえない状況にある。しかし、金沢市畝田遺跡や小松市千代・能美遺跡の出土遺物とみつかった導水施設といった遺構は、水辺の祭祀を考える上で重要である。また、林大智氏は畝田遺跡と千代・能美遺跡などで祭祀行為を行なった首長層が近畿地域の首長層と交流関係にあったとし、古墳時代前期段階において加賀地域での首長居館の構造が加賀地域内で共有され、その上で集落遺跡を4つに分類し、集落と墳墓の階層を対応関係として示した（図6）。

また、近年発掘調査が行われた八日市遺跡からは湧水点に板を組み合わせ溜升状に設置し、上澄みされた水を手前に流し出す施設の存在が明らかになった。

（1）湧水点祭祀

井戸 県内における井戸の出現は、金沢市藤江C遺跡や小松市八日市地方遺跡など弥生時代中期まで遡る。弥生時代後期中葉になると加賀で木組み井戸が出現し、古墳時代早期になると増加し、縦板組井戸側・桶転用井戸側などバラエティーに富む。また、堀大介氏の指摘（堀2008）によると北陸の井戸は、扇状地扇端部から沖積地にかけて発見され、全体の4割を木組み井戸が占めるという。

井戸における祭祀行為 井戸祭祀は、対象とする範囲が明確に定まっていない状況にある。羽咋郡宝達志水町に所在する萩市遺跡の井戸からは鋳形木製品が出土した。このような井戸と直接関係のない祭器品と思われるような遺物が出土する状況は井戸祭祀に該当すると考えられる。堀氏が着目した土器の残存率に則ると古墳時代にみられるものでは完形に近い土器が出土する井戸が該当するが、どこまでを井戸祭祀の範囲とするか問題が残る。

八日市遺跡（湧水点＋施設） 川の中では溜升上に板を組んだ遺構がみつかった。その施設は、奥と手前の板のレベルが異なっており、湧き水が手前の板の高さより溜まると自然と上澄みが手前に流れ出すというものである。この施設は板堀で囲まれていたと考えられ、剣形木製品などの祭器具が伴って出土することから水の祭祀に関わるものと思われる。また、周辺の建物跡は竪穴建物が12棟、掘立柱建物が16棟以上みつかった。その内2棟の竪穴建物から青銅の鑄造に使用されたとみられる炉の痕跡が確認された。

（2）流水祭祀（流路にみられる祭祀について）

①加賀地域

千代・能美遺跡（湧水点＋導水施設） 小松市に所在する遺跡で、湧水点祭祀と流水祭祀双方を行った跡が確認された（図2）。北区画からは、大型掘立柱建物（SB12）に隣接する形で大型の桶を転用した井戸がみつかり、SB12の南側には①目隠し堀と思わしき柱穴跡があること、②工房施設群があると思われる中央区画との境には坂堀が設置されていること、の2点から偏絶性が際立つものと考えられる。南区画からは流水点祭祀に該当する導水施設が見つかった。導水施設の東南側の井戸（SE01）から溢れ出る水を流して、木製構造物に入れたものと考えられる。大量の土器とともに木製高坏や武器・船形といった木製祭祀具の出土が確認されている。

畝田遺跡（導水施設＋溝） 金沢市に所在する遺跡で、大溝と小溝などの遺構が確認された。古墳時代前期の導水施設が溝（SD06）で見つかり、この溝と合流する河道（SD05）では刀の把や弧文板、儀仗といった祭祀的な属性を持つ木製品が出土している（図5）。また、SD05からの土製羽口、導水施設の南側に位置する遺構密集部分での石釧未製品の出土から遺跡内で手工業生産工房の存在を推定できる。

二口六丁遺跡（溝） 金沢市に所在する遺跡で、弥生時代後期～古墳時代前期の土器と大量の木製品が出土した大溝が見つかった。その中でも船形木製品が2点出土している。

②能登地域

萩市遺跡（湧水点＋溝） 調査区内を南西から北東へ向かって流れる大溝と接するようにして井戸が1基検出されている。井戸側は一本の丸太をくり抜いたものであり、その中から木鏃が1点出土している。大溝からは、弥生時代中期～古墳時代前期の土器に加え、大量の木製品が出土した。

矢田遺跡（溝） 本遺跡は令和3年度に発掘調査が行われ、弥生～奈良・平安時代の土器や木製品が大量に出土した。また、過去の調査区でも同様に溝から土器と木製品が出土している。今回の調査では、北側調査区から古代の木簡や木製小型祭祀具などが出土したが、今回の発表では古墳時代のみ取り挙げた。南側調査区で検出した東から西へと流れる大溝からは、弥生時代後期～古墳時代中期の土器と木製品が出土した。木製品の中には、袋状鉄斧の柄や刀装具未製品などがあり、祭祀具としては呪術的なものを連想させる形の木製品（異形木製品）、琴柱形木製品を連想させるような木製品などが現在確認されている。

2. 小結

以上、湧水点祭祀と流水祭祀に分類して県内の遺跡の概要について述べてきた。上記したように加賀地域に所在する千代・能美遺跡、畝田遺跡では、出土した遺物などに鑑みても近畿地域の首長層との交流関係は積極的に認められよう。一方、能登地域ではまだ、導水施設を用いた流水祭祀の痕跡はみつからない。しかし、矢田遺跡からは多量の木製品の中に祭祀具を意識して製作されたような製品が複数点みられることから、大規模な集落あるいは首長居館と呼ばれるような建物に伴う水辺の祭祀の痕跡である可能性があると考えられる。

終わりに

筆者自身の力量不足が目立ち、肝心な水に関わる祭祀遺跡についての理解と定義が不十分であったと痛感する。また、祭祀空間や構造等についても触れることができなかった。これらの反省から令和4年度の研究事業では、水に関わる祭祀が執り行われたと判断できる基準の設定、集落構造や祭祀空間に重点を置き、祭祀を執り行った遺跡あるいは祭祀遺物について言及を行っていく所存である。

引用・参考文献(名称順)

- 青柳泰介 2003「導水施設考—奈良県御所市・南郷大東遺跡の導水施設の評価をめぐって—」『古代学研究』第160号 古代学研究会
- 石川県小松市教育委員会 2003『千代・能美遺跡—市道能美小杉線改良工事に伴う発掘調査報告書—』
- 石川県教育委員会 1972『金沢市古府クルビ遺跡(第1・2次)北陸自動車道路・金沢バイパス関係埋蔵文化財概報』
- 石川県立埋蔵文化財センター 1986『金沢市戸水C遺跡 金沢港泊地造成事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 石川県立埋蔵文化財センター 1991『畝田遺跡』
- (財)石川県埋蔵文化財センター 2012『小松市 千代・能美遺跡』
- (社)石川県埋蔵文化財保存協会 1998『石川県羽咋郡志雄町 萩市遺跡 一般国道159号萩市歩道設置に係る発掘調査報告書』
- 石川考古学研究会 1997『石川県考古資料調査・集成事業報告書』祭祀具Ⅱ
- 石川考古学研究会 2001『石川県考古資料調査・集成事業報告書』捕遺編
- 大阪府立近つ飛鳥博物館 1997『まつるかたち—古墳・飛鳥の人と神—』平成9年度春季特別展 大阪府立近つ飛鳥博物館図録11
- 大阪府立近つ飛鳥博物館 2012『王と首長の神まつり—古墳時代の祭祀と信仰—』平成24年度春季企画展図録 大阪府立近つ飛鳥博物館図録57
- 大阪府立近つ飛鳥博物館 2018『百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、古墳と水のまつり』平成30年度夏季企画展図録 大阪府立近つ飛鳥博物館図録74
- 大阪府弥生文化博物館 2019『北陸の弥生世界わざとこころ』令和元年度秋季特別展 弥生文化博物館特別展図録68
- 大場磐雄 1970『祭祀遺跡—神道考古学の基礎的研究—』角川書店
- 金沢市教育委員会 1983『金沢市二口六丁遺跡』(『金沢市文化財紀要』32)
- 金沢市教育委員会 1989『金沢市西念・南新保遺跡Ⅱ』(『金沢市文化財紀要』77)
- 金沢市教育委員会 1996『金沢市西念・南新保遺跡Ⅳ』(『金沢市文化財紀要』119)
- 滋賀県立安土・大津考古学博物館 2005『王権と木製威信具—華麗なる古代木匠の世界—』平成17年度春季特別展図録
- 笹生 衛 2016『神と死者の考古学 古代のまつりと信仰』歴史文化ライブラリー417 吉川弘文館
- 梶山林継 2008「古墳時代の墓の祭祀」『祭りの考古学』学生社
- 菅原雄一 2013「中期」『若狭と越の古墳時代』季刊考古学・別冊19 雄山閣
- 中屋克彦 2019「八日市遺跡」『石川埋蔵文化財情報誌』第40号 (公財)石川県埋蔵文化財センター
- 七尾市教育委員会 2003『七尾市埋蔵文化財発掘調査概報 石川県万行遺跡発掘調査概報—古墳時代の大型建物群とその関連遺構の概要報告書—』
- 七尾市史編さん専門委員会 2002『新修 七尾市史1 考古編』七尾市役所
- 奈良県立橿原考古学研究所 2018『黒塚古墳の研究』八木書店
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 2005『水と祭祀の考古学』学生社
- 日本考古学協会 1996『シンポジウム1 水辺の祭祀』日本考古学協会1996年度三重大会
- 林 大智 2013「第7節北陸における木製品研究の現状と課題」『木製品から見た古代のくらし』島根県古代文化センター
- 林 大智 2016「古墳時代の首長居館を求めて」『加賀・能登王墓の世界』石川県立歴史博物館
- 坂 靖・青柳泰介 2011『葛城の王都 南郷遺跡群』シリーズ「遺跡を学ぶ」079 新泉社
- 坂 靖 2021『倭国の考古学』新泉社
- 福山博章 2021「京都府城陽市小樋尻遺跡の発掘調査」『考古学研究』第68巻第3号
- 穂積裕昌 2012『古墳時代の喪葬と祭祀』雄山閣
- 穂積裕昌 2013「神まつり」『人々の暮らしと社会』古墳時代の考古学6 同成社
- 穂積裕昌 2013「祭祀・儀礼と井戸」『続・井戸再考—古墳・飛鳥時代の井戸』発表要旨・資料集 埋蔵文化財研究会
- 堀 大介 2008「北陸の事例」『井戸再考—弥生時代から古墳時代前期を対象として—』第57回埋蔵文化財研究会発表要旨集 埋蔵文化財研究会

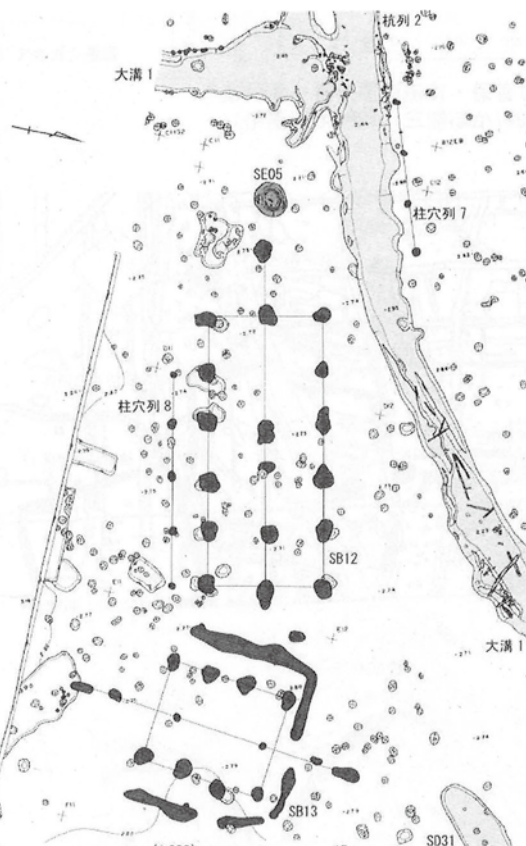


図2 千代・能美遺跡 1導水施設周辺平面図 1/130 2 北区画平面図 1/300 石川県埋蔵文化財センター 2012 より

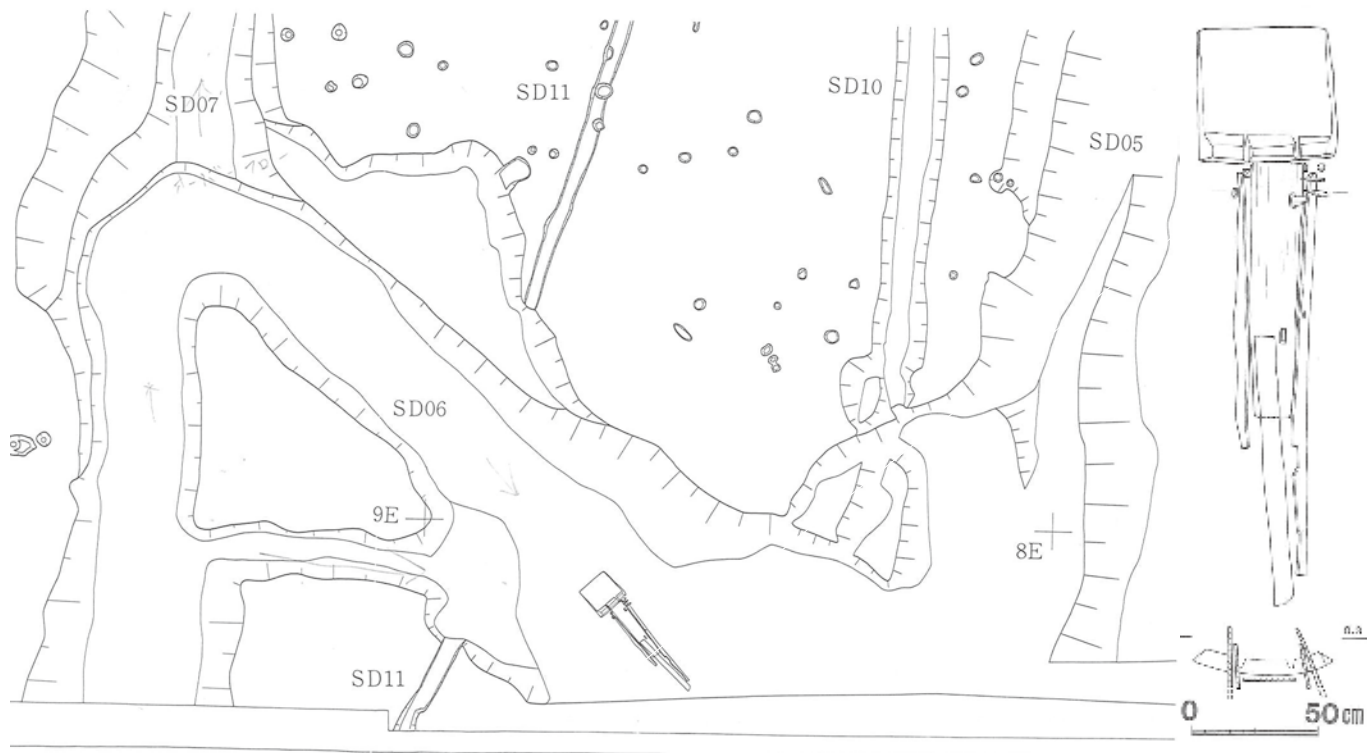


図3 畝田遺跡の導水施設検出状況 左 1/120 右 1/30 石川県埋蔵文化財センター 1991 より

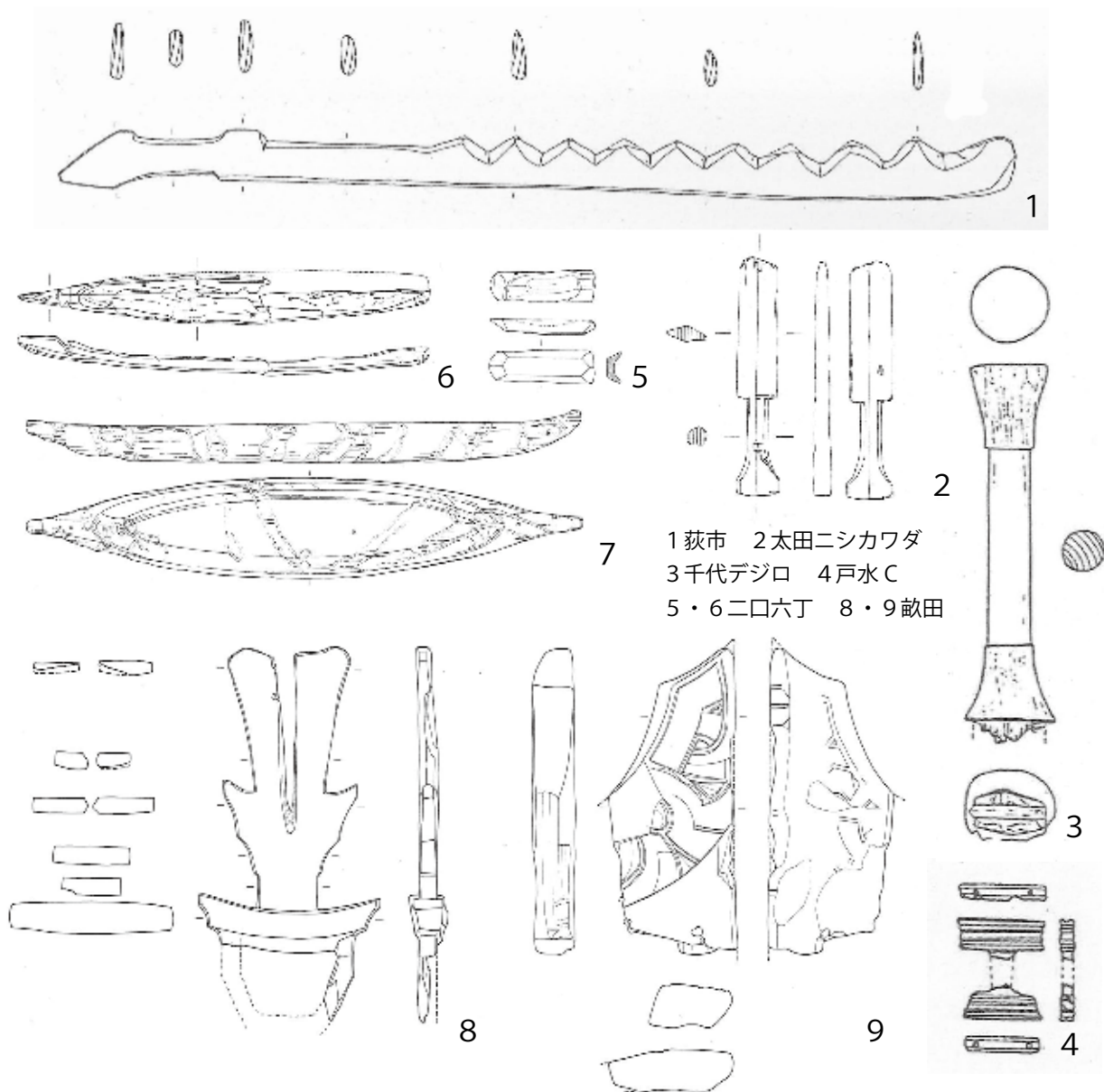


図5 祭祀遺跡出土遺物 金沢市 1996、石川埋文 1991・石川県教育委 1972 より
1～3 剣形木製品 4 琴柱形木製品 5～7 船形 8 儀仗 9 弧文板



図6 集落・墳墓の階層対応図
林 2016 より



写真1 八日市遺跡 板組遺構